

「よい子 強い子 伊丹の

# 伊丹っ子



学校だよりNo. 20

令和5年10月3日

伊丹市立伊丹小学校

校長 磯田 かおり

## ★令和5年度全国学力・学習状況調査結果速報★

新型コロナウイルスが5類に移行し、手洗いや換気等の基本的な感染対策は行いながらも、机を班にして話し合ったり、仲間と協力して考えをまとめて表現したりと、仲間がいるからこそできる様々な学びができるようになりました。子どもたちには、思いやりの気持ちを一層大切にして、課題解決に向けて仲間と協力し自分のことばで表現することのできるたくましい生きる力を培い、健やかに育ててほしいと願っています。

さて、令和5年4月18日（火）に6年生対象に行われた「全国学力・学習状況調査」（下記の1参照）について本校の結果等をお知らせします。なおこの調査で測定できるのは学力の特定の一部であり学校における教育活動の一つの側面です。

### 1 児童に対する調査

- (1) 学力に関する調査〔国語・算数〕それぞれ45分※下記①と②を一体的に問う
  - ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
  - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等にかかわる内容
- (2) 学習状況に関する調査〔児童質問紙〕  
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

1年生の時から学校と家庭と協力して積み上げてきた学力の成果と課題を共有し、生かすことで、未来を生きる子どもたちの幸せの実現を目指していきたいと考えています。また、そのためには、学校と家庭と地域の大人たちが笑顔で連携したり、前向きに行動しようとする姿を子どもたちに示すことが大切です。児童の学習環境や生活の諸側面等と学力には相関関係がみられます。今後ともご協力をお願いいたします。



### 2 学力に関する調査結果について

本校の結果は国語・算数ともに全国及び県の平均を有意に上回る結果でした。また、無回答率（何も書かない）が2教科とも低く、あきらめずに最後まで問題に取り組む姿勢が見られました。

また、昨年度より意識して取り組んできた【書く力】を重視した授業づくり等の取り組みは、各教科の記述式解答率の高さに表れていると考えられます。今後も文章の趣旨を正しく読み取り、条件に応じて表現する等の力を高めていくように努めてまいります。

一方、少数ではありますが、きめ細やかな指導が必要な状況も見られます。ご家庭と連携して一人も取りこぼさない学力の定着を目指します。

『国語の授業について』 質問紙において、以下の項目が今年度新たに加われました。

- ◆ことばには相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいるか
- ◆立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめているか
- ◆書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つけているか
- ◆物語を読む時に登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で書かれているのかに着目しているか

国語の授業を核として、未来を生きる子どもたちに求められる力をつけるため、今後も教職員一丸となって授業改善に向けて研修を進めてまいります。

### 3 学習状況に関する調査結果について (は全国や県より有意に高い、▼は有意に低い項目)

児童質問紙のうち主な結果をお知らせします。課題意識をもって取り組んできた自尊感情に係る「自分にはよいところがある」が大きく向上し、全国や県よりも僅かですが上回りました。引き続き学校、家庭、地域での連携した取り組みにご協力をお願いいたします。

<生活面>		<昨年度比較>	
・自分にはよいところがある	84.5%	・	76.7%
・学校に行くのは楽しいと思う	86.9%	・	83.6%
▼将来の夢や目標をもっている	74.3%	・	79.6%
・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	97.2%	・	94.3%
▼困りごとや不安を先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	63.4%	・	66.5%
・先生はよいところをほめてくれる	88.0%	・	83.0%
▼今住んでいる地域の行事に参加している	42.3%	・	48.8%
▼地域や社会をよくするために何をすべきか考えている	64.0%	・	56.2%



<学習面でのPC・タブレット等のICT機器の活用>	
◎5年生までの授業で、どの程度使ったか	ほぼ毎日 39.4%
・学習の中でPC・タブレット等のICT機器を使うのは役に立つと思う	93.7%
・授業以外で1日あたりどれくらいの時間 スマホやタブレット等を勉強のために使っているか	30分以上 36.0%

<5年生までの授業について>	
▼課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたか	72.6%
・各教科で学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動をしていたか	73.1%
・自分に合った考え方、教材、学習時間などになっていたか	81.4%

<国語について>	<算数について>	<英語について>
・国語は好き 59.4%	◎算数は好き 66.9%	◎英語は好き 74.8%
・国語は大切だと思う 94.8%	・算数は大切だと思う 94.3%	・英語は大切だと思う 87.4%
・国語はよくわかる 85.7%	・算数はよくわかる 78.9%	▼将来積極的に英語を使う 生活や職業をしたい 45.2%

<読書について>	
・学校の授業以外に平日1日あたり読書をする時間	1時間以上 9.9% 30分以下 63.4%
・昼休みや放課後、学校が休みの日、本を読んだり借りたりするため、学校図書館や地域の図書館に行く頻度	週に4回以上 5.1% ほとんど又は全く読まない又は行かない 37.7%
▼読書は好き	66.9%
・新聞を読んでいるか	ほぼ毎日 4.6% ほとんどまたは全く読まない 77.0%

読書時間は県及び国と同程度ですが、読書しない割合は本校の過去2年の結果と比べると年々増加し、読書好きな児童は減少傾向で、読書離れを危惧しています。新聞離れも県及び国と同様に顕著です。変化の激しい時代ですので、身近な地域や社会、外国の出来事にも関心を高く持ち、自分にできることを考えて積極的に行動し、人の役に立った経験や他の人と協力して成し遂げた経験を自信にしてほしいと願っています。子どもたちが、行動することによる成功体験や失敗体験を糧にして、将来に向けて目を輝かせて夢や目標を語れるように、私達大人もつながりを大切にするとともに、子どもと向き合う時間の確保に努め、熱いスクラムを組んで支えていきたいと思っております。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。